

平成二十九年十一月六日提出  
質問 第一一八号

戦士の国家日本の意味に関する質問主意書

提出者 逢坂 誠二

## 戦士の国家日本の意味に関する質問主意書

十一月二日、アメリカのトランプ大統領はFOXニュースの番組に出演し、Donald Trump on Thursday warned China that “warrior nation” Japan could take matters into its own hands if the threat posed by North Korea is not addressed. (ドナルド・トランプは、北朝鮮の脅威に対処しなければ、「戦士国家」日本は自国の問題として、自らの手で対処するだろうと中国に警告した)と明らかにした上で、“Japan is a warrior nation, and I tell China and I tell everyone else that listens, I mean, you’re gonna have yourself a big problem with Japan pretty soon if you allow this to continue with North Korea.” (私は、日本は戦士国家であると中国や他の国々にも言っている。つまり、この意味は、中国が、北朝鮮の核開発の継続を許すなら、中国はすぐに日本との間に大きな問題を持つことになるだろう)と表明した。

十一月五日にアメリカのトランプ大統領が訪日し、安倍総理と首脳会談を行い、その中で、北朝鮮問題が大きな比重を占めていることが報じられている。

これらの発言に関して政府の見解を確認したいので、以下質問する。

- 一 日本の同盟国であるアメリカの大統領が日本のことを warrior nation とアメリカの有力メディアで語る

ことで、世界的な反響が生じるものである。日本が warrior nation であることは、首脳間で合意された日本政府の基本的な外交方針であると考えてよいか。見解を示されたい。

二 政府は warrior nation とはどのようなものと認識しているのか。

三 トランプ政権下の日米間の外交文書などで、日本を指すものとして warrior nation なる言葉が用いられたことはあるか。

四 政府は、トランプ大統領のこれらの発言をどのように理解しているのか。見解を示されたい。

五 中国が北朝鮮問題に対処しなければ、Japan could take matters into its own hands であると日本政府はアメリカ政府と確認しているのか。見解を示されたい。

六 政府は、Japan could take matters into its own hands は、どいう意味と理解しているのか。

七 六に関連して、own hands とは、北朝鮮の threat (脅威) というような北朝鮮が具体的な武力行使を日本に対して行わないとしても、自衛権の行使が行われるという意味か。見解を示されたい。

八 トランプ大統領のいう a big problem with Japan pretty soon は日本の核兵器の保有を示唆しているとも受け取られかねないが、政府の見解を示されたい。

九 北朝鮮の脅威が高まり、中国がそれに十分対処しないとしても、日本が非核三原則という基本政策を変更することはせず、自ら核抑止力を保有することはないという理解でよいか。

右質問する。